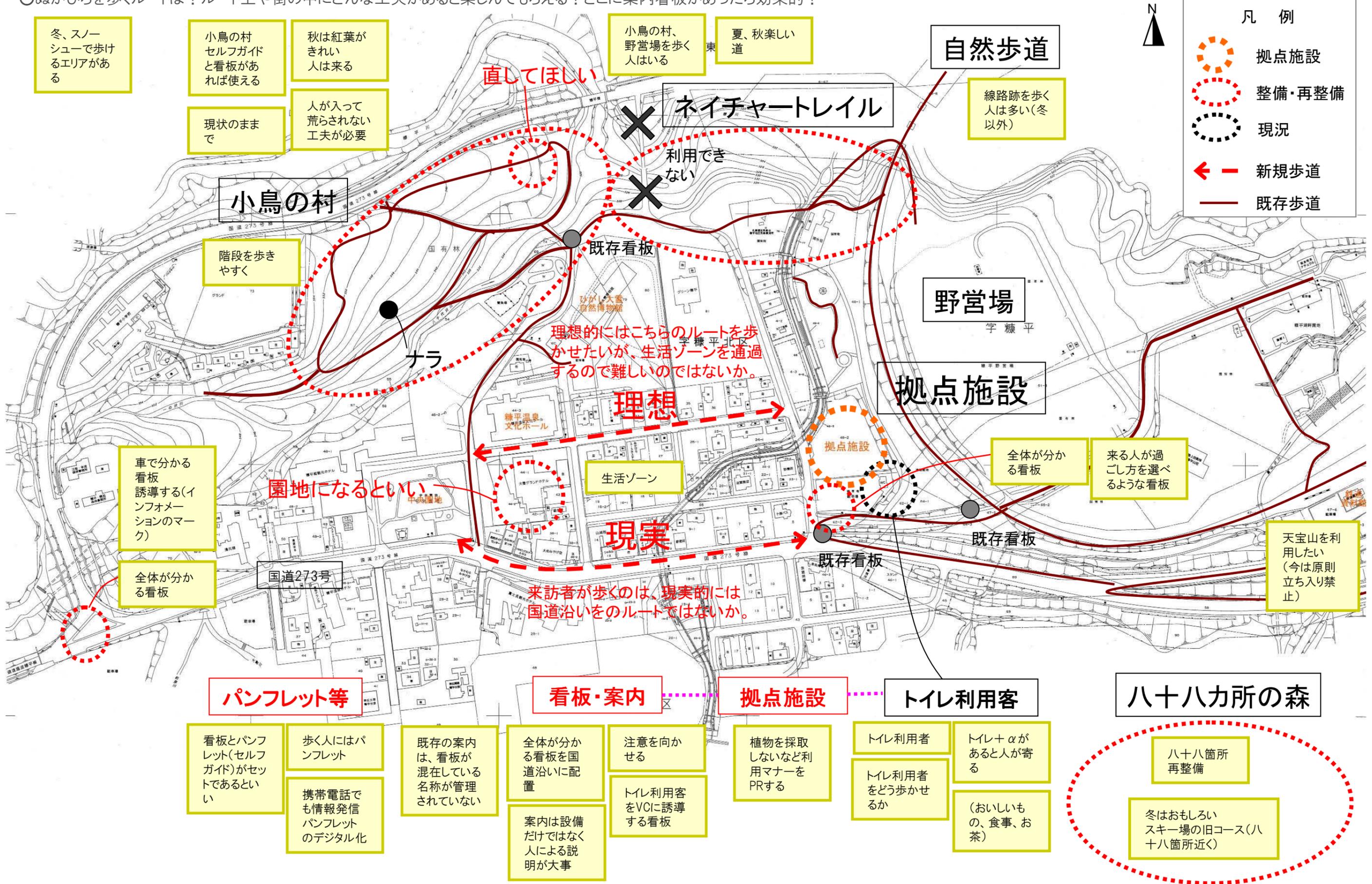


東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて (A班)

○ぬかびらを歩くルートは？ルート上や街の中にどんな工夫があると楽しんでもらえる？どこに案内看板があったら効果的？



※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成

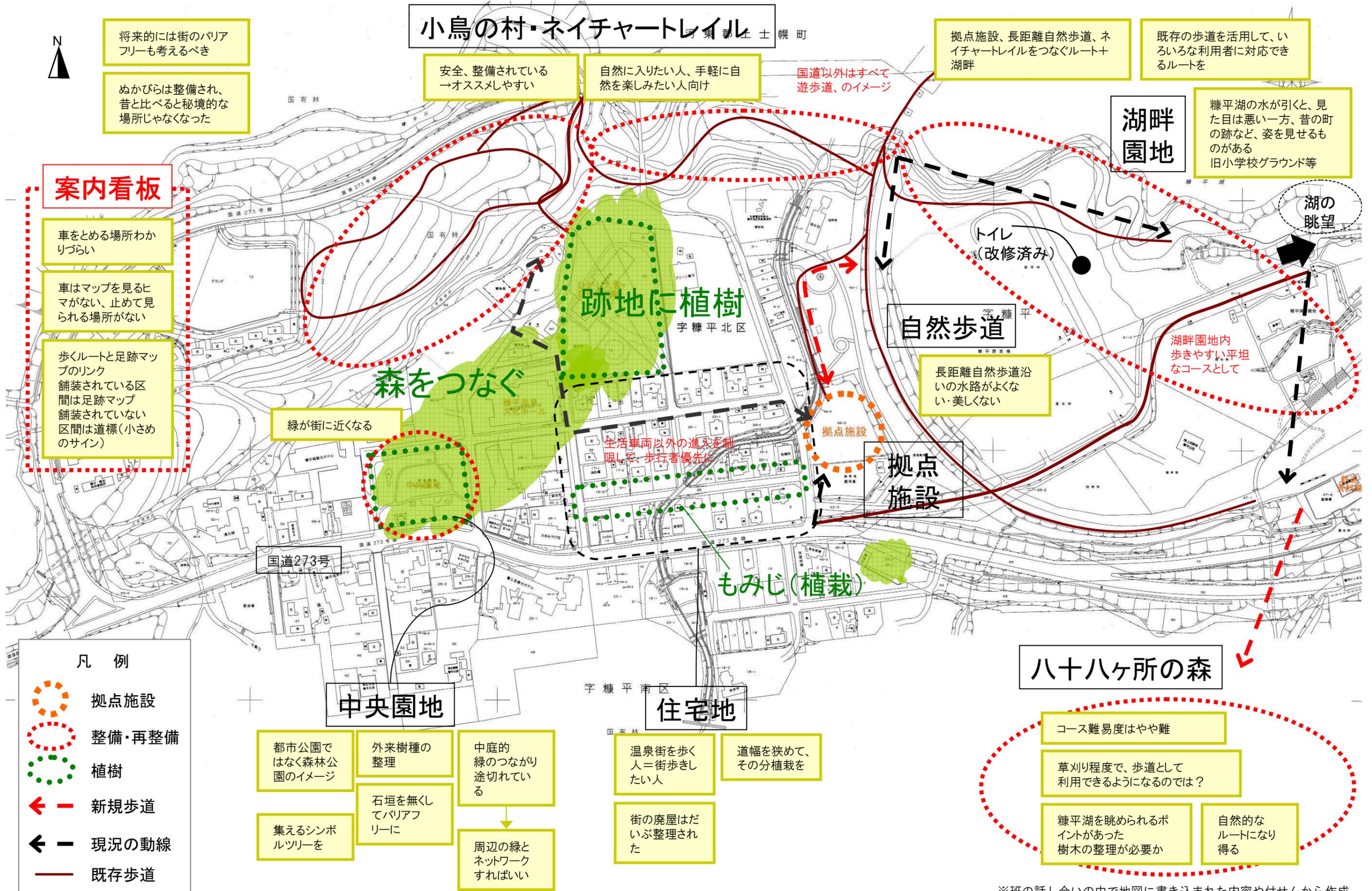
十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて (A班)

○眺望や歴史等を残しておきたい場所は？ 植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？ 必要であれば、どこにあったら良いか？



東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて (B班)

○ぬかびらを歩くルートは？ルート上や街の中にどんな工夫があると楽しんでもらえる？どこに案内看板があったら効果的？



将来的には街のバリアフリーも考えるべき

ぬかびらは整備され、昔と比べると神秘的な場所じゃなくなった

小鳥の村・ネイチャートレイル

安全、整備されている → オススメしやすい

自然に入りたい人、手軽に自然を楽しみたい人向け

国道以外はすべて遊歩道、のイメージ

拠点施設、長距離自然歩道、ネイチャートレイルをつなぐルート+湖畔

既存の歩道を活用して、いろいろな利用者に対応できるルートを

糠平湖の水が引くと、見た目は悪い一方、昔の町の跡など、姿を見せるものがある
旧小学校グラウンド等

案内看板

車をとめる場所わかりづらい

車はマップを見るヒマがない、止めて見られる場所がない

歩くルートと足跡マップのリンク
舗装されている区間は足跡マップ舗装されていない区間は道標(小さなサイン)

緑が街に近くなる

跡地に植樹

森をつなぐ

生活車両以外の進入を制限して、歩行者優先に

自然歩道

長距離自然歩道沿いの水路がよくない・美しくない

拠点施設

湖畔園地内
歩きやすい平坦なコースとして

国道273号

もみじ(植栽)

八十八ヶ所の森

コース難易度はやや難

草刈り程度で、歩道として利用できるようになるのでは？

糠平湖を眺められるポイントがあった
樹木の整理が必要か

自然的なルートになり得る

凡例

- 拠点施設
- 整備・再整備
- 植樹
- 新規歩道
- 現況の動線
- 既存歩道

都市公園ではなく森林公園のイメージ

外来樹種の整理

中庭的緑のつながり途切れている

集えるシンボルツリーを

石垣を無くしてバリアフリーに

周辺の緑とネットワークすればいい

温泉街を歩く人＝街歩きしたい人

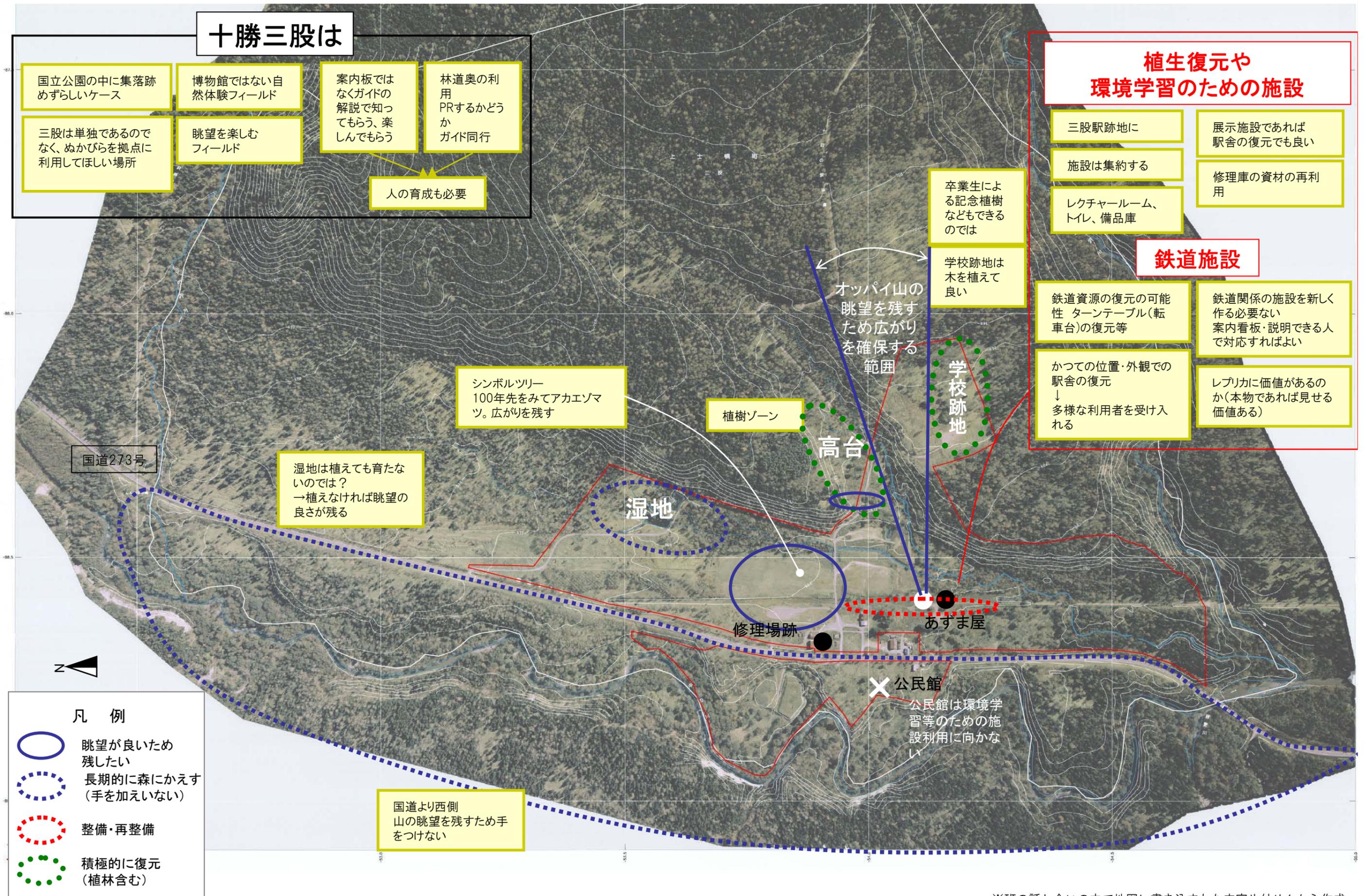
道幅を狭めて、その分植栽を

街の廃屋はだいたい整理された

※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成

十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて (B班)

○眺望や歴史等を残しておきたい場所は？植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？必要であれば、どこにあったら良いか？



十勝三股は

- 国立公園の中に集落跡めずらしいケース
- 博物館ではない自然体験フィールド
- 案内板ではなくガイドの解説で知ってもらおう、楽しんでもらおう
- 林道奥の利用 PRするかガイド同行
- 三股は単独であるのではなく、ぬかびらを拠点に利用してほしい場所
- 眺望を楽しむフィールド
- 人の育成も必要

植生復元や環境学習のための施設

- 三股駅跡地に
- 施設は集約する
- レクチャールーム、トイレ、備品庫
- 展示施設であれば駅舎の復元でも良い
- 修理庫の資材の再利用

鉄道施設

- 鉄道資源の復元の可能性 ターンテーブル(転車台)の復元等
- かつての位置・外観での駅舎の復元 ↓ 多様な利用者を受け入れる
- レプリカに価値があるのか(本物であれば見せる価値ある)
- 卒業生による記念植樹などでもできるのでは
- 学校跡地は木を植えて良い
- 鉄道関係の施設を新しく作る必要ない案内看板・説明できる人で対応すればよい

シンボルツリー 100年先をみてアカエゾマツ。広がりを残す

湿地は植えても育たないのでは？ → 植えなければ眺望の良さが残る

オツパイ山の眺望を残すため広がり確保する範囲

修理場跡

あずま屋

公民館 公民館は環境学習等のための施設利用に向かない

国道より西側山の眺望を残すため手をつけない

※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成